科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
保健医療福祉行政論Ⅰ	NSF21_003	必修	2	2	後期

担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー
望月　宗一郎	301	s.mochizuki	水曜日　12:30～14:00

授業の目的・概要	地域社会の中で生活する人々を支える保健医療福祉制度により、看護がサービスとして提供される仕組みや社会における看護の機能について理解し、それを裏付ける法律について学ぶ。 保健医療福祉行政論Ⅰでは特に、国民の健康、QOLを守る保健医療福祉行政の理念と仕組み、法律や制度を軸に、国や地方公共団体の保健福祉行政の実際について学ぶ。
授業形式・方法	☑対面授業　□遠隔授業(双方向型)　□遠隔授業(自主学習) ☑講義　□演習　□実習　□実技 □PBL　□反転授業　□ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ　□ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ　□ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ　□実習・ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ　□その他　（　　）
学習上の助言	本科目には、2 年次必修科目の「社会保障論」、「公衆衛生学」をしっかり復習した上で臨むこと。また、授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問し課題を解決すること。
教科書	新版 生活健康科学 / 編:小田切陽一 / 三共出版 公衆衛生がみえる / メディックメディア　(2冊指定)
参考書	なし
外部教材	なし

	学生が達成すべき行動目標	関連卒業認定・学位授与方針
①	保健医療福祉行政の基本的な仕組みを理解し、説明できる。	HSU(1)(2)、NS(1)
②	わが国の社会情勢の変化に対応した保健医療福祉の政策を説明できる。	HSU(1)(2)、NS(1)

授　業　計　画

回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	オリエンテーションから本科目の概要を学ぶ。 〈概論〉健康の捉え方について再確認する。	講義	教科書の該当箇所を予習する。	4
2	〈概論〉健康にかかわる政策の概要について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
3	〈各論①〉医療法と医療体制について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
4	〈各論②〉社会保障と医療経済について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
5	〈各論③〉地域保健について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
6	〈各論④〉成人保健と健康増進について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
7	〈各論⑤〉母子保健について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
8	〈各論⑥〉高齢者保健について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
9	〈各論⑦〉精神保健・障害者福祉について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
10	〈各論⑧〉感染症対策について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
11	〈各論⑨〉食品保健について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
12	〈各論⑩〉学校保健について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
13	〈各論⑪〉産業保健について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
14	〈各論⑫〉環境保健について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
15	〈総論〉保健医療福祉行政に関する課題と対策について学修する。	講義	教科書の該当箇所を復習する。	4
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

達成度評価

総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓	看護師国家試験をベースに、授業内容確認のための穴埋め問題を含めた筆記試験を行う。	必要に応じ試験問題の解説を行い、不明点を解消させる。
	②	✓		
レポート	①			
	②			
成果発表	①			
	②			
ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	①			
	②			
その他	①			
	②			

備　　考

他担当教員	なし。
教員の実務経験	行政保健師としての勤務経験を有する。
実践的授業の内容	担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。
その他	ノートやルーズリーフなどを各自持参すること。 講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 今後の社会情勢によって、シラバスの内容が一部変更となる可能性がある。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない場合は退室していただくこととなる。